

# GIGA スクール通信



G I G A…Global and Innovation Gateway for All

今号担当：総務課教育政策担当



## アプリの活用例を考える！



最近、「ICTを『文房具』として自由な発想で活用できるように」とよく耳にしますが、具体的な活用イメージが湧かないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

VOL. 2では、端末に搭載される基本アプリについて紹介しましたが、今号では、各アプリを使ってどのような教育活動ができるのかを考えてみます。

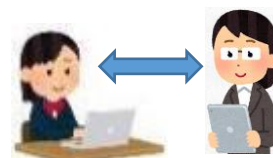


### Google classroom

⇒先生や児童生徒がオンライン上でコミュニケーションを取り合えるツール

～例えば、こんな使い方！～

- ・教師が児童生徒に課題を出したり、評価した課題を返却したりする。
- ・提出物の期日が近づいたときのリマインドに使う。
- ・児童生徒が課題で困ったら、教師や友達にオンライン上で質問する。
- ・授業後、学習内容について児童生徒から意見や質問を集め、きめ細かなフォローや授業改善につなげる。
- ・朝の会での連絡、生徒会活動の情宣等、掲示板として活用する。 など



### Google スライド

⇒同時編集機能で発表資料を作成できるプレゼンテーションツール

～例えば、こんな使い方！～

- ・グループで分担して調べた内容をもとに、同時編集機能で発表資料を作成する。
- ・図画工作等の学習で作品の製作過程を写真に記録し、工夫した点などを交流する。
- ・スライドに挿入された ALT の動画を繰り返し視聴する。 など



### Google フォーム

⇒アンケート機能を使い、意見を集約・集計・可視化できるツール

～例えば、こんな使い方！～

- ・授業の導入で、課題についての初発の感想を収集し、その後の学習展開に生かす。
- ・係活動や委員会活動等のアンケート調査で活用し、集約、集計したものを新聞やポスターにして発信したり、Google classroomで配信したりする。
- ・地域の方々へのインタビュー活動の前に、校内で事前アンケートを実施し、質問内容を見直し、改善を行い、より答えやすく深い質問につなげる。 など



### Jamboard

⇒リアルタイムで意見交換ができるデジタルホワイトボードツール

～例えば、こんな使い方！～

- ・一人一人が考えを付箋に書き出し、色を変えたり並べ替えたりすることで、集団で思考を整理するブレインストーミングを行う。
- ・体育の球技でチームメンバーと練習方法や作戦を話し合う。 など

ぜひ、みなさんも4月から端末を手にした子どもの姿を思い浮かべながら、自由な発想でアプリの活用方法について考えてみてください。

